

NEWS RELEASE

報道関係各位

2015年11月13日

株式会社KADOKAWA

sasakure.UKの人気ボカロ楽曲シリーズを入間人間が小説化 奇才二人による奇跡のコラボが実現！

『しゅうまつがやってくる！—ラララ終末論。I—』

2015年12月18日 発売決定！

株式会社KADOKAWA(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:松原真樹)アスキー・メディアワークスでは、サウンド・プロデューサーのsasakure.UK(ササクレ・ユウケイ)氏によるボーカロイド楽曲「しゅうまつがやってくる！」を、人気作家の入間人間(いるま・ひとま)により小説化したします。入間人間にとっては、本作が初のボーカロイド楽曲原案の小説となります。小説『しゅうまつがやってくる！—ラララ終末論。I—』は、2015年12月18日(金)より、全国書店およびインターネット書店にて発売予定です。

小説『しゅうまつがやってくる！—ラララ終末論。I—』を執筆するのは、実写映画化もされた電撃文庫『嘘つきみーくんと壊れたまーちゃん』(イラスト/左、累計発行135万部)や、TVアニメ化された『電波女と青春男』(イラスト/ブリキ、同150万部)など、独特の作風から生み出される世界観で多くのファンを魅了している作家・入間人間。ボーカロイド・鏡音リンが歌う「しゅうまつがやってくる！」の世界を、入間人間が再創造いたします。イラストは、私立恵比寿中学の「仮契約のシンデレラ」サブカル盤ジャケットなどを手掛けるusi(ウシ)氏が担当。繊細かつポップなイラストが本書を彩ります。

原案となる楽曲「しゅうまつがやってくる！」は、sasakure.UK氏による楽曲“終末シリーズ”の1つ。本シリーズは、ニコニコ動画で350万再生を記録する「*ハロー、プラネット。」を筆頭に、「しゅうまつがやってくる!」、「ぼくらの16bit戦争」、「ワンダーラスト」の4曲で構成され、再生回数がシリーズ累計860万再生を超える人気シリーズです。キャッチーな楽曲と深く心を打つ歌詞で形成された独自の世界観はさまざまな考察や憶測を呼び、ファンの心をとらえ続けています。

入間人間 × sasakure.UK、奇才二人による奇跡のコラボ、小説『しゅうまつがやってくる！—ラララ終末論。I—』に、ぜひご注目ください。

■ 『しゅうまつがやってくる！—ラララ終末論。I—』 概要

【書名】 しゅうまつがやってくる！—ラララ終末論。I—
 【原案】 sasakure.UK 【著者】 入間人間 【イラスト】 usi
 【判型】 四六判 【ページ数】 256ページ
 【定価】 本体1,000円＋税
 【発売日】 2015年12月18日(金)
 【発行】 株式会社KADOKAWA アスキー・メディアワークス
 【特設サイト】 <http://shuumatsu.com/>

【あらすじ】

愛のうた、ひとついかがですか——
 文崎双葉(あやさき・ふたば)は普通の恋をしていた。相手は通学の途中、5分だけ一緒に過ごす男の子。だが、あるメールをきっかけに日常は一変する。
 『コンニチハ、☆のひと！ きみたちにステキな“しゅうまつ”がおとずれますように』。



↑ カバーイメージ

原案・sasakure.UKより

僕は入間さんの独特な表現や、読み手をハッとさせる展開がすごく好きで、入間さんなら"終末シリーズ"をもっと素敵で広がりのあるものへ昇華してくれるに違いない！ という熱い想いと共に、この企画が始まりました。

今回入間さんに文章をお願いするにあたって、自分の作品と再び向かい合っ、綿密に、本当はかなり綿密にプロットを纏め上げました…！ 楽曲の中だけでは伝えきれなかった事やもっと表現したかった事を掘り下げながら、"終末シリーズ"を知ってくださる方々にも、新しく僕や入間さんを知ってくださる方にも楽しんで頂けるような作品を目指しました！

ぜひお手に取ってみて下さいね。

著者・入間人間より

この仕事を始めるまで、所謂ボーカロイドというものとは縁遠い人間でした。そんなやつになぜこうした仕事が任されたのか。実は自分にも分かりません。そういう流れがあって、そういう巡り合いがあったと思うほかありません。そしてこの歌にまつわる話も、そうした巡り合わせに想いを馳せるものではないかと思えます。この歌と本に出会って悪くなかったと思えるような、そんな出会いが増えることを願って携わらせて頂きました。まずは第一巻、近々発売です。よろしくお願いします。

■登場キャラクター



●文崎双葉(あやさき・ふたば)

年齢:14歳 誕生日:7月14日

とある“男の子”に想いを寄せながらも、なかなかその想いを伝えられないごく普通の少女。謎のメールをきっかけに世界の終末と向き合うこととなる。メールが好きで、趣味は園芸。PiO-RSK201(通称・ピヨスケ)というひよこ型ロボットをかわいがっている。



●文崎一陽(あやさき・ひなた)

年齢:14歳 誕生日:7月14日

双葉の弟。一卵性双生児で、双葉と目元がよく似ている。明るい性格で周囲のムードメーカー的な存在。恋にもだえる思春期まっただ中の姉をよくからかっている。スポーツが得意。



●男の子

年齢:14歳 誕生日:2月7日

双葉が恋をしている男の子。さっぱりした性格で、明るく優しいが、どことなくミステリアスな一面がある。趣味はゲームで、“FPS”と呼ばれる一人称視点の戦争シューティングゲームに夢中。かなりの腕前のようなのだが……？



●アンドロイド

年齢:16歳(外見年齢) 誕生日:不明

文崎家のとなりに住む家族のお手伝いアンドロイド。この時代では一般的になっている家庭用のお手伝いアンドロイドだが、どこか人間じみた面を見せる特殊な存在。アンドロイドゆえに純粋に物事を認識し、人間から見るとどこかズレた言動をすることがある。



●マスター(本名不明)

年齢:不明 誕生日:不明

アンドロイドのマスター。西洋系の血筋を思わせるブロンドの髪をもった大人しい子供。アンドロイドにとってもなついている。

■制作者プロフィール

◆**著者 入間人間 (いるま・ひとま)**

『嘘つきみーくんと壊れたまーちゃん』にて電撃文庫よりデビュー。TVアニメ化された『電波女と青春男』、『アラタなるセカイ』など、数多くの作品がメディアミックスされている。

●入間人間公式サイト「入間の間」: <http://irumahitoma.jp/>

<入間人間の主な著作>

電撃文庫『美少女とは、斬る事と見つけたら』(イラスト/珈琲貴族)、『嘘つきみーくんと壊れたまーちゃん』(イラスト/左)、『電波女と青春男』(イラスト/ブリキ)、『安達としまむら』(イラスト/のん)、メディアワークス文庫『神のゴミ箱』、『ぼっちーズ』ほか多数

<入間人間 最新刊 電撃文庫『安達としまむら 5』>

【書名】安達としまむら 5

【著者】入間人間

【イラスト】のん

【定価】本体550円＋税

【発売日】2015年11月10日(火)

【発行】株式会社KADOKAWA アスキー・メディアワークス



『安達としまむら 5』表紙 →

12月10日(木)発売「電撃文庫MAGAZINE Vol.47」には、入間人間書き下ろしの『しゅうまつがやってくる!』前日譚が掲載されます。

●電撃文庫MAGAZINE公式サイト: <http://dengekibunko.jp/magazine/>

◆**原案 sasakure.UK (ササクレ・ユークイ)**

福島生まれ。作詞・作曲・編曲の全てをこなすサウンド・プロデューサー。メッセージ性の高い歌詞と、ポップで深く温かみのあるサウンドを融合させた唯一無二の音楽性を確立している。

◆**イラスト usi (ウシ)**

イラストレーター、デザイナー。私立恵比寿中学の「仮契約のシンデレラ」サブカル盤ジャケットや、数多くの書籍カバーを手がけており、その独特の世界観が高い評価を得ている。

<ご参考>

■アスキー・メディアワークスとは

アスキー・メディアワークスは、小説、コミック、ゲーム、ホビーなど、エンターテインメント分野を中心とした事業を展開。出版を基盤に、ウェブ・モバイル、電子書籍、アプリ、映像、音楽、グッズ、ゲーム、イベントなど、メディアを超えてコンテンツをプロデュースしています。

●KADOKAWA公式サイト: <http://www.kadokawa.co.jp/>

●アスキー・メディアワークス公式サイト: <http://asciimw.jp/>

以上

【本件に関する報道関係からのお問い合わせ先】
株式会社KADOKAWA
アスキー・メディアワークス
<http://asciimw.jp/>